

令和元年 網走市議会
文教民生委員会会議録
令和元年9月24日(火曜日)

○日時 令和元年9月24日 午前10時32分開会

○場所 委員会室

○議件

1. 議案第22号 平成31年度網走市一般会計補正予算

○出席委員(7名)

委員長	永本浩子
副委員長	近藤憲治
委員	金兵智則
	工藤英治
	平賀貴幸
	古田純也
	村椿敏章

○欠席委員(0名)

○委員外議員(1名)

議長	井戸達也
----	------

○傍聴議員(5名)

小田部	照
川原田	英世
栗田	政男
松浦	敏司
山田	庫司郎

○説明者

副市長	川田昌弘
市民環境部長	酒井博明
市民活動推進課長	田邊雄三
生活環境課長	近藤賢

○事務局職員

事務局長	大島昌之
次長	細川英司
総務議事係主査	寺尾昌樹

午前10時32分開会

○永本浩子委員長 それではただいまから文教民生委員会を開会いたします。

本日の委員会ですが、議案2件を審査いたします。

それでは最初に議案第22号平成31年度一般会計補正予算のうち1項目め、消費生活相談事業の説明を求めます。

○田邊雄三市民活動推進課長 追加議案資料20号3ページをごらん願います。

議案第22号平成31年度一般会計補正予算中、所管分の市民活動費、消費生活相談事業の補正について御説明いたします。

初めに1の補正の理由及び内容ですが、北海道消費者行政推進事業を活用し、消費者問題の市民啓発と高齢者に対する特殊詐欺アンケート調査による実態把握をするための事業費合計100万7,000円を追加補正するものです。

内容につきましては、啓発資材作成費はアンケート調査時の啓発用、また民生委員が地域での高齢者訪問等を実践する際の啓発用として提供する資材とするため、既製の商品に啓発文書等を印字するものの購入を予定し28万1,000円としています。

啓発ラジオ放送委託については、特殊詐欺被害の防止などの啓発の5分間スポット放送を製作し、月曜から金曜までのFMあばしり放送時間中の午前、午後に各1回放送することを予定するもので、2カ月8週間実施することとし、8パターンの放送を制作し、毎週ひとパターンずつ放送していくこととしています。

放送内容は警察、消費生活専門相談員などと協議し、その内容をもとに制作して年内の放送を委託するもので、委託料として39万6,000円としております。

高齢者アンケート調査委託は、65歳以上の方を対象に留守番電話機能、特殊詐欺撃退自動通話録音装置の導入活用状況や、特殊詐欺に関する警戒意識などに関する調査を実施することを予定しております。

アンケート調査はコミュニティーセンター、住民センターに依頼し利用者に協力をいただくほか、老人クラブ、ふれあいの家での調査、また民生委員の協力により地域の高齢者訪問時にアンケートの内容を聞き取りによる調査の実施依頼をしていくことと

しており、集計分析については業者委託により実施するもので委託料として33万円としております。

次に2の補正額ですが、(1)の歳出予算は消費生活相談事業に100万7,000円を追加し、補正後の事業費総額は502万3,000円となるものです。

補正に係る財源につきましては、全額北海道からの消費者行政推進事業補助金で、これを(2)の歳入予算に追加するものです。

歳入予算の補正前の額128万1,000円に今回の補正額を加え、補正後の額は228万8,000円となるものです。

以上で説明を終わります。

○永本浩子委員長 それでは質疑に入ります。

質疑ございませんか。

○金兵智則委員 何点かお伺いさせていただきたいと思っております。

この100万7,000円の補正予算ですけれども、これは道からこの予算が補助されることになったのでこの事業をやるということなのか、この事業をやりたいからこの金額になったのか、そこをまずはお伺いしたいのですけれども。

○田邊雄三市民活動推進課長 今回追加の補助要望がありましたので事業を検討した結果、当初アンケート調査等は予定をしていたのですけれども、前回の予算には入りませんでしたので、今回はそれも含めて事業申請をしたところですよ。

○金兵智則委員 アンケート調査は以前からちょっとやりたいという御要望があった中で、やっとできるようになったというような感じなのかなというふうに思いますが、アンケートについては65歳以上ということですが、これは結局総計で何件ぐらいを予定されているのかというのはあるのですか。

○田邊雄三市民活動推進課長 想定数は640名程度を想定してまして、内訳としましてはコミュニティセンター、住民センターあわせて8カ所ありますけれども、そこで20人ずつで160人。あと老人クラブでこれから教室があるところが、15カ所程度ありますのでそこで90人程度。ふれあいの家が13カ所ありますので平均的に20人程度で260人。民生委員の訪問時に108人の方がおりますけれども、その中で130人程度と合わせて640人程度を見込んでおります。

○金兵智則委員 640人ぐらいあれば網走の傾向は分析できるということで640人なのですか。

網走に住む65歳以上が何人ぐらいだったかわから

ないですけれども、その何割に当たるからとかっていうことなのか、その辺の640人というこの人数のところを教えてくださいと思います。

○田邊雄三市民活動推進課長 65歳以上の現在の人口ですけれども、4月1日現在で1万1,135人おりました。

今回の調査はサンプリング調査、標本調査の手法により行いまして、その中から全員にアンケートをとればいいのですけれども、そうではありませんのでそこからのサンプル調査ということで、このような調査方式の時には許容誤差と信頼レベルという調査方法がありまして、その中の今回は信頼レベルというものを使います。

これはどの程度正確に母集団の特性を代表するものかという調査になりまして、一般的に1万人に必要なサンプル数は623人というところがありますので、それを超えているところで代表的な意見を集計できるのではないかとというふうに考えて640人という想定数にしました。

○金兵智則委員 よく理解をさせていただきたいと思っております。

あと啓発ラジオのほうなのですけれども、2カ月8週間にわたって午前、午後それぞれ放送するというのですが、これちなみにこれが効果的なのでFMあばしりを使おうということだったと思うのですけれども、視聴率みたいのってというのは何か把握されていたりするのですか。

○田邊雄三市民活動推進課長 FMあばしりがどれぐらい聞かれているのかということなのですけれども、把握はしておりませんが、同じ質問をFMあばしりにしたところ聞いている方の人数は当然把握できていないらしいのですけれども、アプリのダウンロード数が現在3,000ダウンロードを超えたということと、日の投稿数ですとかが20件以上平均してあるということで、その数はふえているということから、ある程度の市民の皆さんに聞かれているということでラジオ放送を決めました。

○金兵智則委員 はい、わかりました。

アプリの3,000ダウンロードというのがちょっと多いか少ないのかわからないですけれども、それが果たして市民の方々で高齢者の方々に聞いてもらいたいというのがメインなのかなというふうに思ったのですけれども、そういうわけではないということなのですか。

○田邊雄三市民活動推進課長 高齢者の方だけでは

なくて、広く周りの方にも啓発をして高齢者が特殊詐欺被害に遭う時の防止の手助けになるようにということで、広く市民の皆さんに聞いていただきたいと思っております。

○金兵智則委員 そうしたらこのラジオのほうは、放送は特に高齢者がメインというわけではなく、全体的にということで多分アプリというと高齢者の方がアプリをダウンロードしているかということとちょっと微妙だなという感じでしたし、市民の方でFMあばしりがどれほど浸透してきているのか、浸透してきているとは思いますが、高齢者の方々が本当に知っているのか、できれば高齢者の方々に聞いてもらいたいなど、僕なんかはこれを見て思ったのですけれどもどう思いますか。

○田邊雄三市民活動推進課長 今回コミュニティセンターとかでもアンケート調査等をしますので、放送時間帯がわかればコミュニティセンターでもラジオを流してもらおうとか、そういうことをしながら広く聞いていただきたいと思っております。

○金兵智則委員 せっかく予算を立てて行う事業でするので多くの方々に聞いていただく、そしてアンケートもきちっと行うということを期待したいと思えますけれども、ちなみにアンケート調査の結果の集計は委託業者のほうでやっていただけということでしたけれども、これの公表みたいなものはあるのですか。

○田邊雄三市民活動推進課長 一応報告書のほうにまとめたいと思っておりますので、その内容は公表していきたいと思っております。

○金兵智則委員 わかりました。

○永本浩子委員長 ほかに。

○平賀貴幸委員 何点か聞かせていただきます。

いつもこの補助金があるのですけれども、途中で出てくるのですけれども、普段は相談員さんの研修だとか市民向けの講演会みたいな形の補正が多いと思うのですけれども、今回このような形は初めてだと思えるのですけれども、そういうふうにした理由を教えてください。

○田邊雄三市民活動推進課長 この補助金は活用の分野が決まっています、当市では相談員の研修と、啓発に充てられる部分になっておりますので、この年度のこれから先の3月までの時期を考えたときに、この内容ならいけるということで判断して申請をしたところです。

○平賀貴幸委員 理解をさせていただきました。

先ほどラジオでの放送用の番組というか、8種類の方法を展開されるということでしたけれども、その音源等はラジオ以外では活用されないのですか。

○田邊雄三市民活動推進課長 ちょっとFMあばしりには聞いていないですけれども、こちらにしても提供してもらえれば、例えばインターネットで聞けるようにするとか、あとコミュニティセンターで録音したものを流すとか、そういったことができれば今後考えていきたいと考えています。

○平賀貴幸委員 限られた財源ですので、ラジオで流すということだと流れた瞬間にもう二度と聞けなくなるという性質にどうしてもなるので、今答弁にもあったようにホームページとかSNSにもぜひのせていただきたいと思えますし、老人クラブの集まりやふれあいの家での集まりのときに音を聞いてもらって啓発に使っていくということをしていくと、より生きた予算の使い方になると思うのですけれどもいかがでしょうか。

○田邊雄三市民活動推進課長 参考に検討していきたいと考えます。

○平賀貴幸委員 ぜひそんな感じで生かしていただければ、なかなかいい事業になるんじゃないのかなと思います。

もう1点アンケート調査をとるということですが、ラジオの委託放送も今回の持っているのであればなのですが、ラジオの配信、確か今年度進めていくのだと思うのですけれども、そこ何かアンケート調査って連動すると考えていらっしゃるのでしょうか。

○田邊雄三市民活動推進課長 今回予算のほうにも参考にしたいということで、11月ぐらいまでにアンケート調査のその後の集計を考えていますので、ちょっとラジオの配信のほうとは時期がずれると思いますので、そこでの直接的な連動は考えておりません。

○平賀貴幸委員 わかりました。

ちょっと配信が果たして順調に進むのか不安があるものですから、もし連動させられる必要があるようだったら連動させたらと思ったのですけれども、時期がずれるのでそこは理解をさせていただきました。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ではお諮りいたします。

議案第22号平成31年度網走市一般会計補正予算

中、消費生活相談事業については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、そのように決定されました。

○永本浩子委員長 では次に移ります。

議案第22号平成31年度網走市一般会計補正予算のうち、2項目めの火葬場管理運営事業について説明を求めます。

○近藤賢生活環境課長 続きまして、資料20号の4ページをごらんください。

平成31年度一般会計補正予算中、当課所管分、環境衛生総務費、火葬場管理運営事業に係る歳出予算の補正について御説明申し上げます。

初めに、1の補正の理由及び内容についてであります。現在使用している火葬場は平成22年に供用を開始し10年目を迎えているところですが、8月29日の火葬の際にタッチパネル操作盤の故障が判明し、現在1炉が使用できない状況となっております。

火葬を待っていただくなど市民生活に支障を来している状況であることから、緊急的に修理をする必要があるため経費を追加補正するものです。

経費につきましては、工事請負費484万円となっております。

内容についてであります。火葬炉4炉のうち1炉が既に更新し、3炉の操作盤は次年度以降の更新を予定していましたが、現在は1炉が停止し、残りの2炉についてもタッチパネルの反応が低下している状況です。

見積もりを比較したところ、1炉のみの更新よりも3炉をあわせて更新の方が諸経費などの費用が低く抑えられるため、今回まとめて修理をすることとして補正計上しました。

次に2の補正額ですが、火葬場管理運営事業に484万円を追加し補正後の事業費は2,556万4,000円となるものです。

以上で説明を終わります。

○永本浩子委員長 それでは質疑に入ります。

質疑ございませんか。

○村椿敏章委員 今、導入後10年目ということですが、この操作盤の耐用年数は何年なのか。

また、3炉を一緒にということですが、1炉は幾らかかるような状況だったのかお聞きします。

○近藤賢生活環境課長 火葬炉の操作パネルの耐用年数ですが、1年当たり400件の火葬をする場合、全部で4炉あるので100件ずつの火葬であればほぼ10年使えるという予定になっていましたが、現在は年間500件の火葬を行っていることから、10年目の今回ですね、支障が出てきている状況となっております。

また1台の更新の場合、既に1炉が壊れてしまいかえた実績があるのですがその時が200万円。また今回見積もりをとったところ、1台だけ直す場合は200万円。それで3台直す場合は、諸経費などが一緒に合わせられるということで、484万円という見積もりをいただいたところです。

○村椿敏章委員 わかりました。

ありがとうございます。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ありませんか。

○金兵智則委員 端的に1炉を更新したのは今年度なのですか。

○近藤賢生活環境課長 1炉の更新につきましては、ことしの年度始めに更新をしております。

○金兵智則委員 この3炉はもしこの補正予算が通って発注をかけたとなると、どれぐらいかかるものなのですか。納期は。

○近藤賢生活環境課長 納期ですが、パネルを議決後に発注しますので、パネルを作成準備してつけるまでに1カ月ほどかかると回答をもらっています。

○金兵智則委員 これが通った後に発注をかけて1カ月に3炉がまとめて直るのですか。順番になのですか。

○近藤賢生活環境課長 特殊な器具なものですから、技術者が網走まで来て直します。

それで一括して直す予定としております。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございませんか。

○工藤英治委員 今、年平均500件の火葬があり、この10年間で当市だけではない火葬もあるということですか。

割合としてはどのくらい、1割ぐらいありますか。

○近藤賢生活環境課長 網走市の火葬件数は大体450件ぐらいですね、市外で100件まで満たないくらいの件数となっております。

○永本浩子委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。それではお諮りいたします。

議案第22号平成31年度網走市一般会計補正予算

中、火葬場管理運営事業については、全会一致により原案可決すべきものとして決定してよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それではそのように決定されました。

各委員より何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ声あり〕

それではこれで文教民生委員会を終了いたします。

お疲れさまでございました。

午前10時51分閉会
